

2013年

6/15 土

13:30 ~ 16:50

13:30 ~ 開講式

6/22 土

13:30 ~ 16:40

6/29 土

13:30 ~ 16:40

16:40 ~ 閉講式

●会場

鳥取大学医学部 記念講堂

1回のみ受講もお待ちしております。

後援：鳥取大学医学部医師会

※資料の準備の都合上、事前のお申込みにご協力ください。当日の受講も可能ですが、資料を配付できない場合がございます。
※ご提供いただきました個人情報は、公開講座以外の目的には使用いたしません。

「テーマ」

ノーベル賞 iPS細胞・再生医療

夢の治療が現実化？

世界中で話題になったiPS細胞の大発見とその可能性をわかりやすく解説します。
また、がんの治療、さらには感染症への新しい制御の仕組みなど、最新の話題を専門家がお話します。

受講
無料

お申込み先



鳥取大学医学部総務課広報係

電話：0859-38-7037 FAX：0859-38-7029

メール：me-kouhou@adm.tottori-u.ac.jp

鳥取大学医学部

検索

携帯からの
お申し込みは
こちらから



ノーベル賞・ iPS細胞・再生医療

講座日程

6月15日(土)

13:30~13:40 【開講式】 福本 宗嗣 医学部長

13:40~15:10 遺伝子医療学部門 汐田 剛史 教授

『iPS 細胞誕生とその未来』

〈講演内容〉 昨年度のノーベル賞以来 iPS 細胞が世界中から注目されています。iPS 細胞がどのように作製され、未来に向かってどのような可能性をもつのか、お話したいと思います。

15:20~16:50 再生医療学部門 久留 一郎 教授

『再生医療の最前線』

〈講演内容〉 幹細胞は色々な臓器を再生できます。鳥大病院では骨髄や脂肪の体性幹細胞を使って閉塞性動脈硬化症の血管再生や乳がん術後の乳房再生といった再生医療を実現化しています。また、ヒト万能細胞から心臓の細胞を作り出すことに成功し次世代の再生医療も創造しています。

6月22日(土)

13:30~15:00 免疫学 林 眞一 教授

『もう一つのノーベル賞 2011：生体防御』

〈講演内容〉 生物は皆、病原体の感染に悩んできました。ヒトから植物まで、ずっと共通した仕組みによって、そんな苦しみと闘ってきました。そんな仕組みの存在が明らかになりました。

15:10~16:40 病態生化学 岡田 太 教授

『ノーベル賞とがん：こぶとり爺さんをめざして』

〈講演内容〉 すっかり身近な病となった“がん”。これがなぜ生じてくるのか、少しずつ分かるようになってきました。そのひとつに、生き物が長く生きることそのものが、“がん”を育むことになるようです。「こぶとり爺さん」をめざす、これからの“がん”を考えてみましょう。

6月29日(土)

13:30~15:00 分子生物学 初沢 清隆 教授

『ノーベル賞から見えてきた細胞のしくみ』

〈講演内容〉 私たちの身体をつくる細胞は、インスリンなどのホルモンを作る方法や悪玉（LDL）コレステロールの処理方法などを駆使し健康維持に貢献しています。ノーベル賞受賞研究から見えてきたこれら細胞のしくみのあれこれをわかりやすくお話します。

15:10~16:40 生体情報学 竹内 隆 教授

『生き物の形づくりから考える再生医療』

〈講演内容〉 私たちの心臓や脳は再生できません。ところが、それができる動物がいます。私たちとは、何が異なるのでしょうか？それがわかれば、動物が本来もっている“再生力”に根ざした新しい再生医療法が見えてきます。

16:40~ 【閉講式】 生体情報学 竹内 隆 教授

〈お申込み先〉



鳥取大学医学部総務課広報係

電話：0859-38-7037 FAX：0859-38-7029
メール：me-kouhou@adm.tottori-u.ac.jp